

# パイプハウス建て方作業手順

## 作業前準備

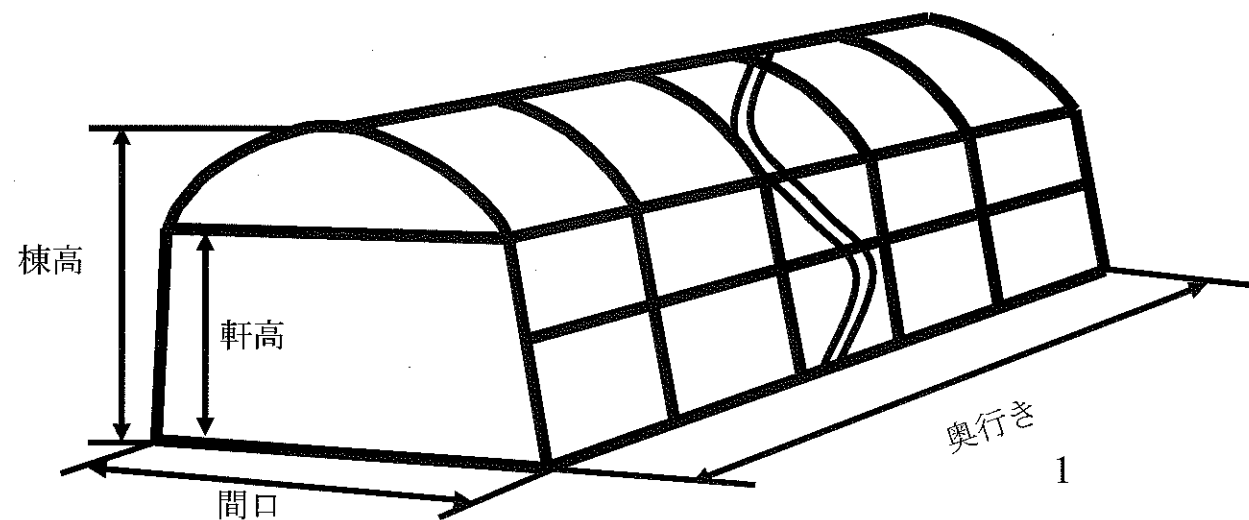
### 設置場所の設定

### パイプハウスの注文

1. アーチパイプ印付け
2. 地取り
3. パイプの配置
4. アーチパイプの立ち上げ
5. アーチパイプの接続
6. 天井部桁行きパイプの取り付け
7. 肩部桁行きパイプの取り付け
8. 裾部桁行きパイプの取り付け
9. 肩・裾部ビニペットレールの取り付け
10. 妻面パイプの取り付け（両面）
11. ドア位置決め、取り付け
12. 妻面ビニペットレールの取り付け
13. 筋交いの取り付け
14. 周辺掘り下げ
15. 裾フィルム展張、埋め込み
16. 捨て張り・巻上げフィルム展張
17. 天井フィルム展張
18. 巻き上げ装置取り付け
19. 押さえバンド取り付け

## 設置場所の選定

- 日当たりよく、風当たりが少ない
- 灌水用水源の確保
- 南北方向に建てる
- 道路からはなす
- 隣接ハウスから2 m以上離す
- 敷地が余るとき南側を残す

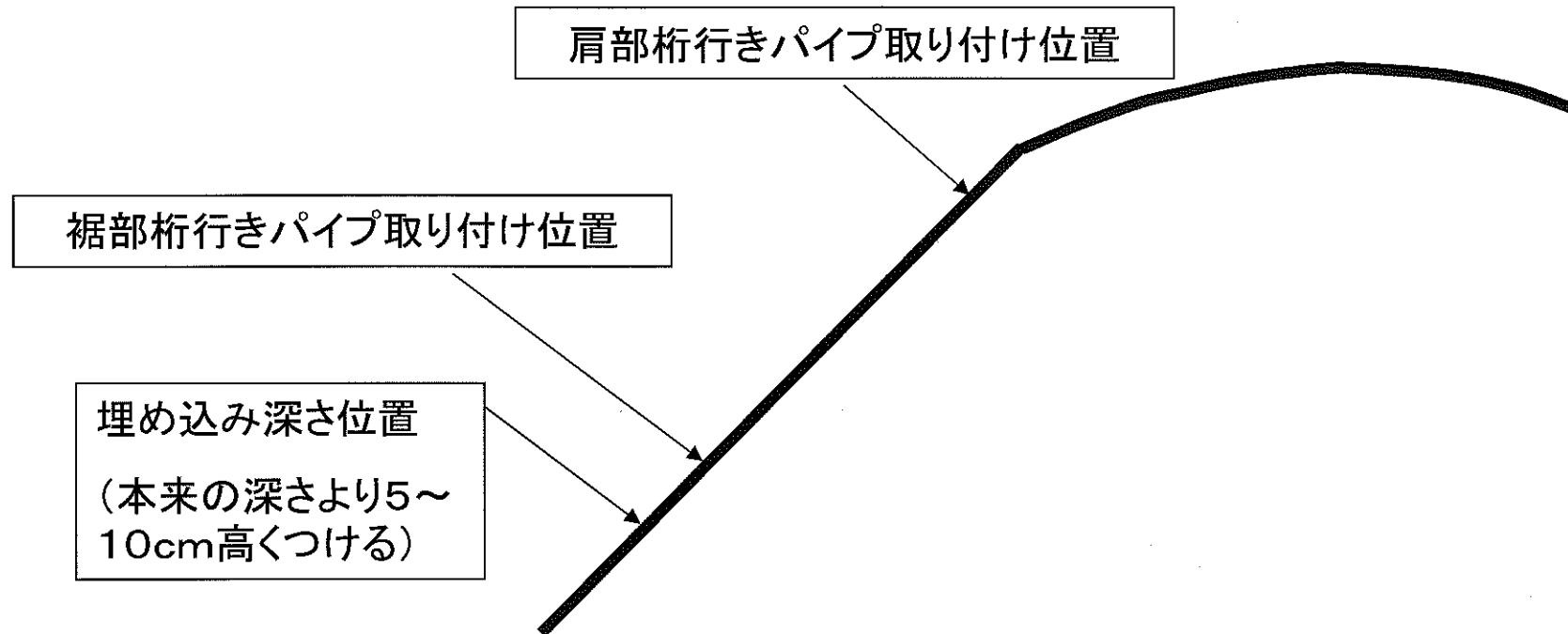


# パイプハウス建て方手順

## 1. パイプの印付け

あらかじめ、部材を取り付ける位置にマジック等で印をつけます。

既に印がついている製品もあります。



# パイプハウス建て方手順

## 2. 地取り

起点にクイを打ち、それを挟む角が $90^\circ$ になるように調整します。(図1)

○3辺がそれぞれ3・4・5mになる3角形において3mと4mの辺の挟む角が $90^\circ$ になることを利用します。今回の場合は、7.2・9.6・12mとなります。

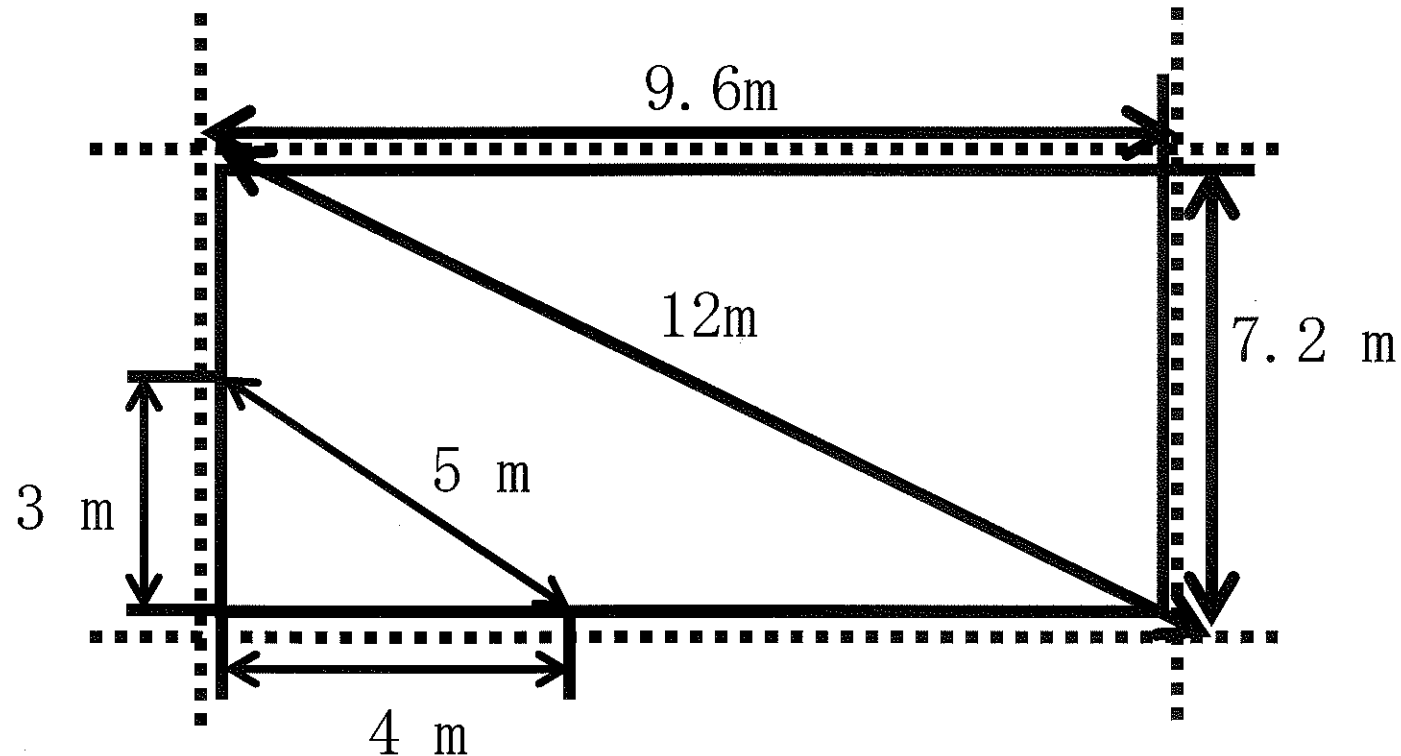


図1 地取りの方法

# パイプハウス建て方手順

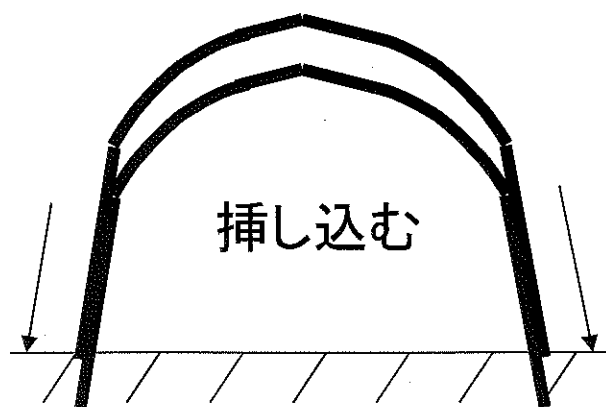
## 3. アーチパイプの立ち上げ

アーチパイプの両端に1人ずつ、中央部分に1人ついて3人でねじれないように立ち上げる。

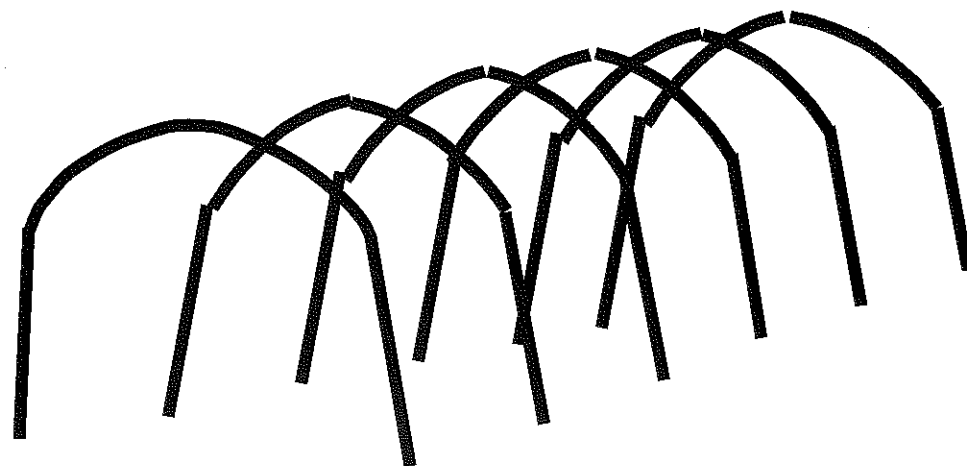
## 4. アーチパイプの挿し込み

あらかじめ30cmの印を付けたところまでパイプを挿し込む。

入らない場合は、パイプを打ち込む等して穴をあけておく。



順にたちあげる

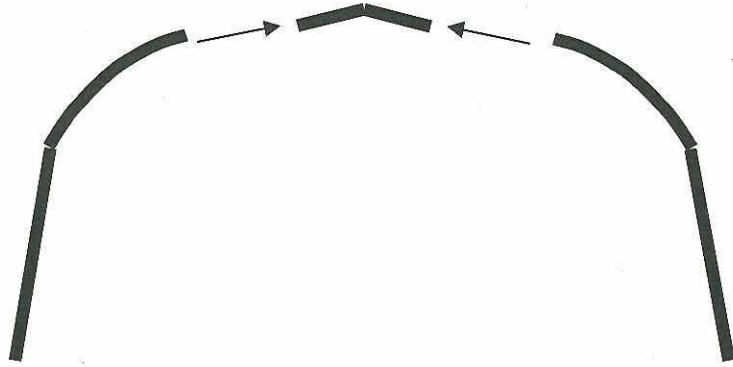


# パイプハウス建て方手順

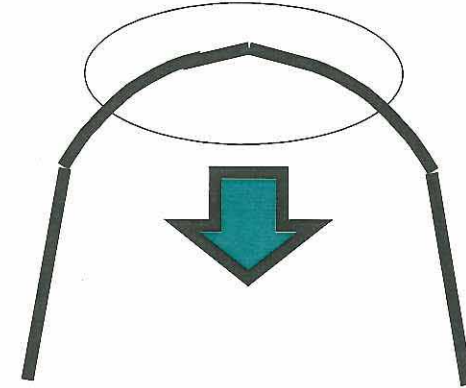
## 5. アーチパイプの接続

アーチパイプを立ち上げた後、外ジョイントで接続する。

左右から挿しこむ



押し下げて、奥まで挿しこむ



# パイプハウス建て方手順

## 6. 天井部桁行きパイプの取り付け

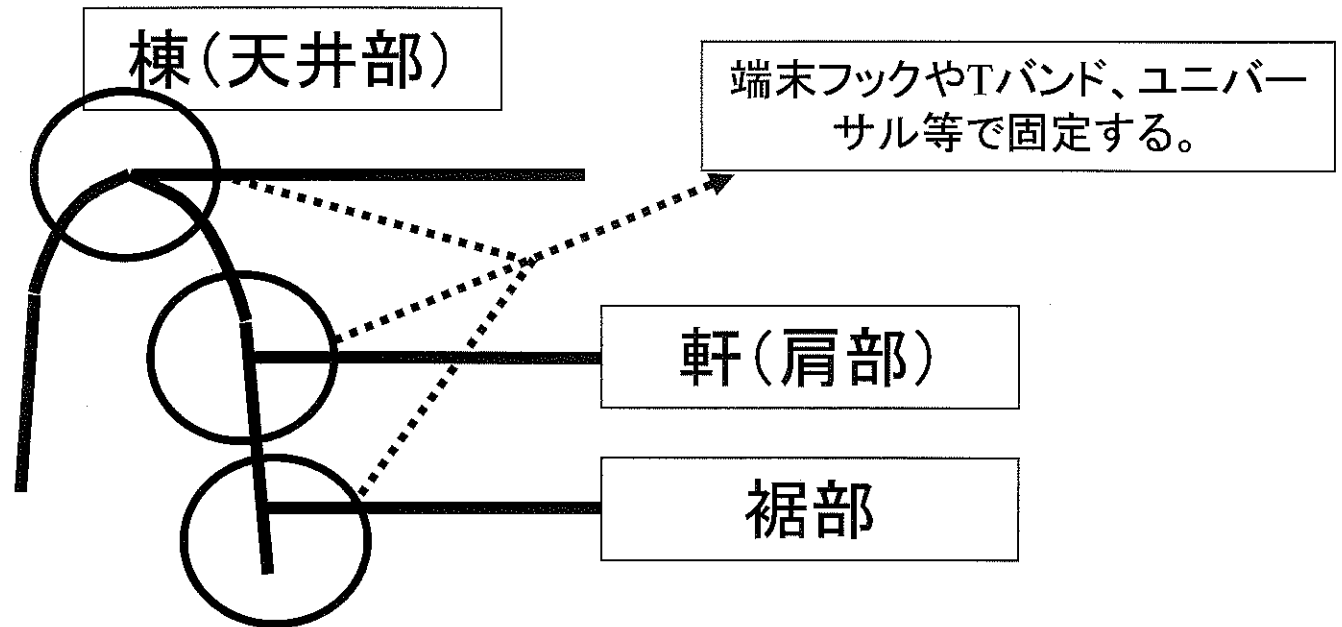
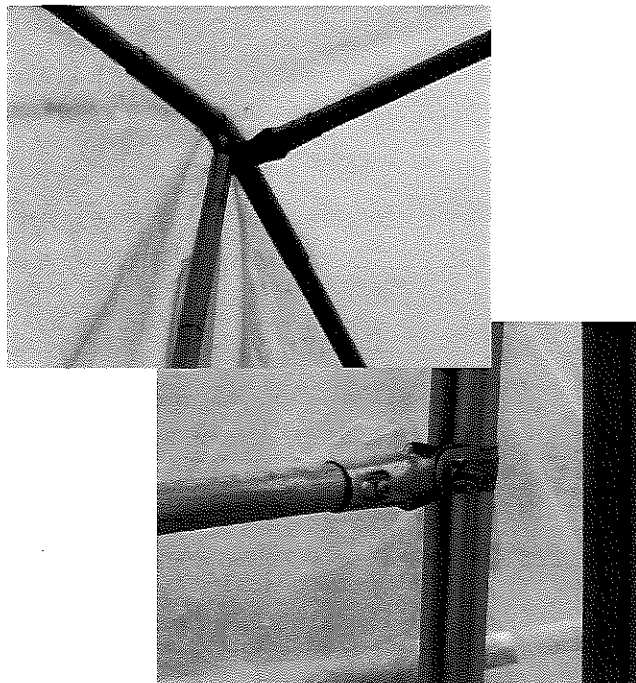
脚立を用いて天井部のパイプの両端を「端末フック」「Tバンド」等で固定する。その後、アーチパイプと交差している部分を「クロスバンド」で止める。

## 7. 肩部桁行きパイプの取り付け

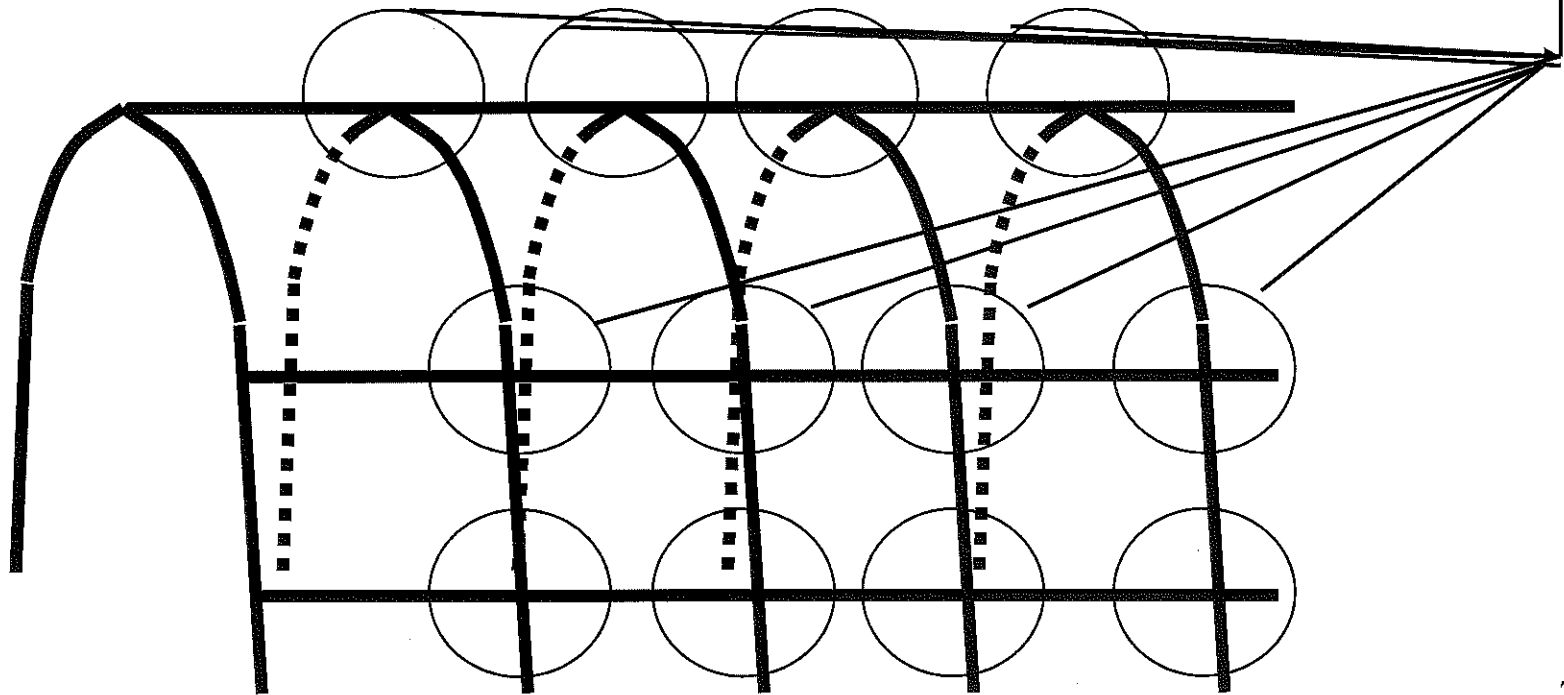
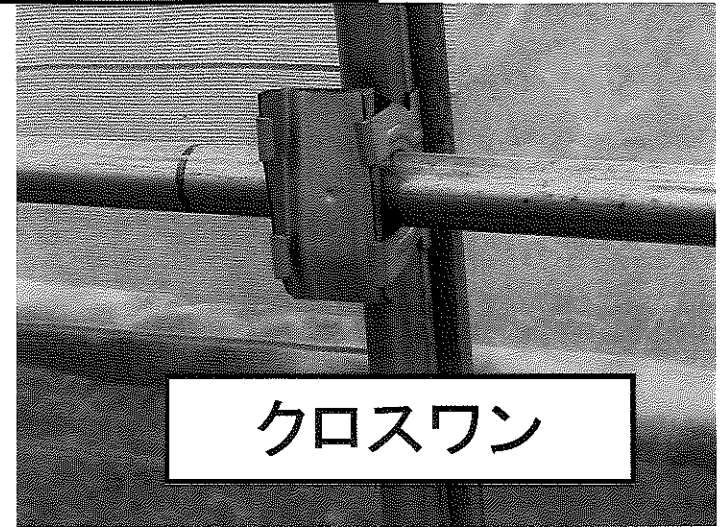
あらかじめ印を付けたところにパイプを取り付ける。天井部と同様に先に両端を「端末フック」「Tバンド」等で固定する。その後、アーチパイプと交差している部分を「クロスワン」等で止める。

## 8. 裾部桁行きパイプの取り付け

あらかじめ印をつけたところにパイプを取り付ける。取り付け方は、天井部・肩部と同様にする。



アーチパイプと交差している部分を、「クロスワン」等で止める。



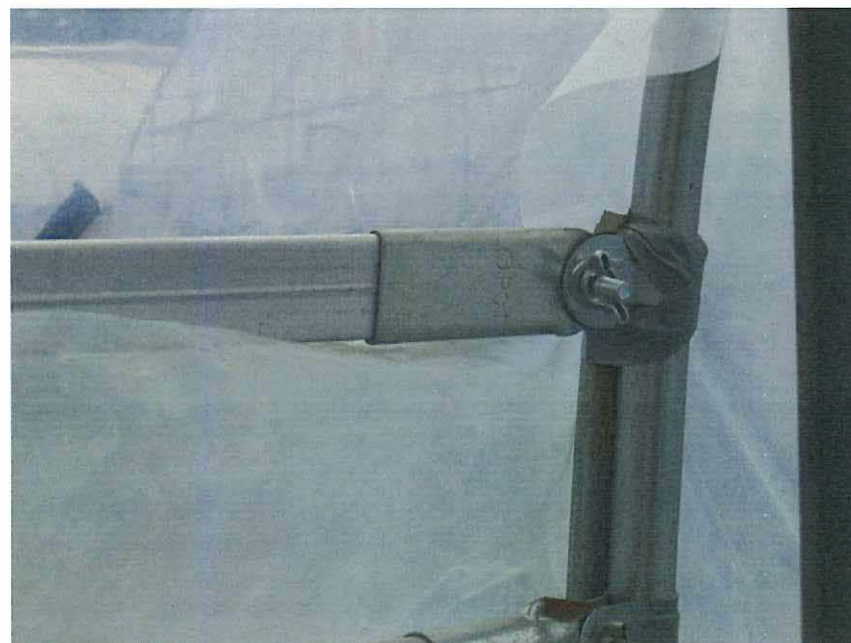
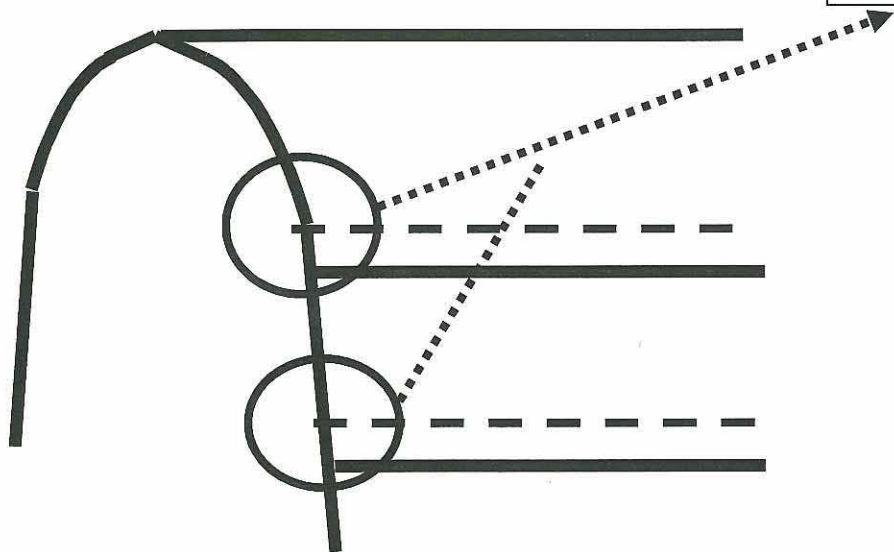
# パイプハウス建て方手順

## 10. サイド部ビニペットレールの取り付け

あらかじめ付けた印の位置に取り付ける。

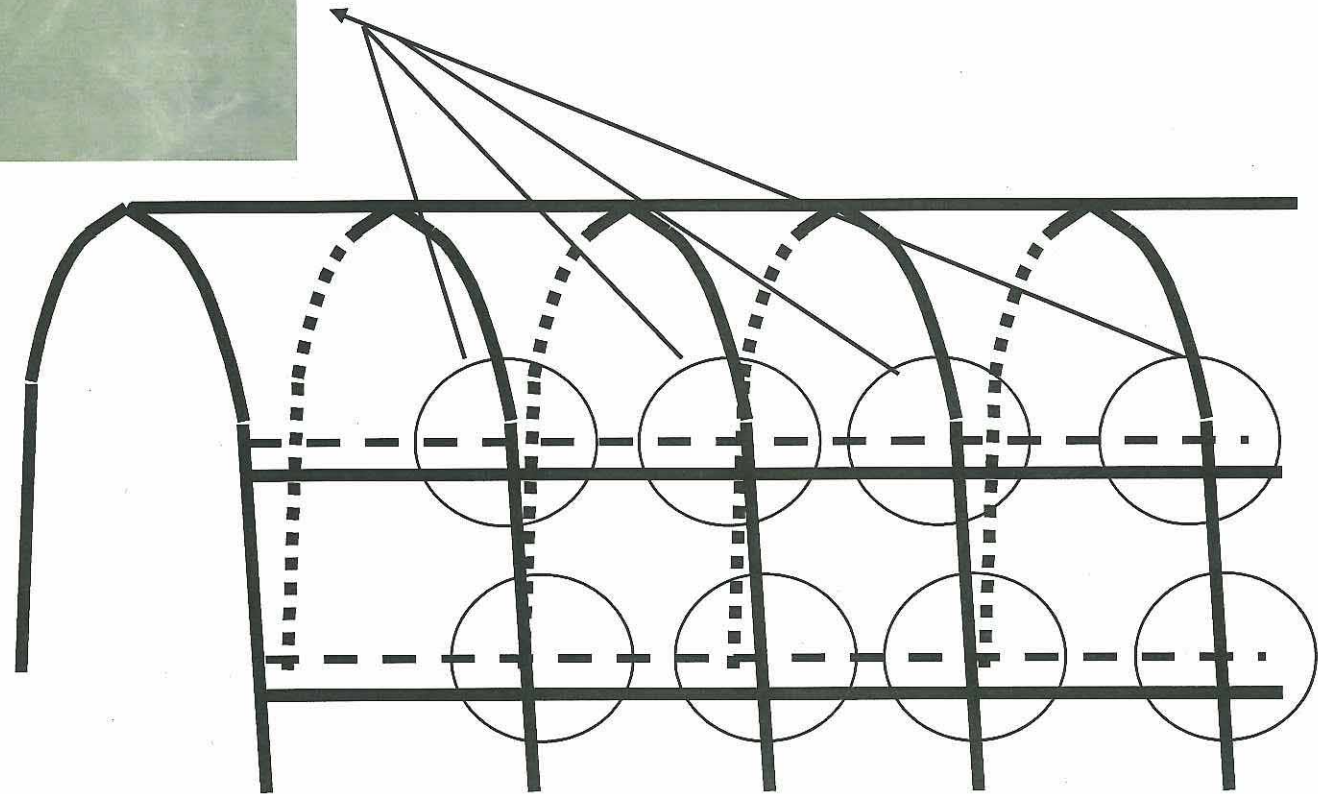
取り付け方法は「ビニペットコーナージョイント」を用いて桁行きパイプと同様に行うが、アーチパイプと交差している部分は仮どめ程度にしておき、水平に調整してからしっかりとめる。

ビニペットコーナージョイントで固定する。





アーチパイプと交差している部分は仮どめ程度にして  
おき、水平に調整してからしっかりとめる。



# パイプハウス建て方手順

## 1 1. 妻面パイプの取り付け（出入り口の反対側）

妻面の中央の直管を設置し、その両側に2本ずつ等間隔で直管パイプを取り付ける。下部を埋め込み、上部を「自在バンド」等とする。

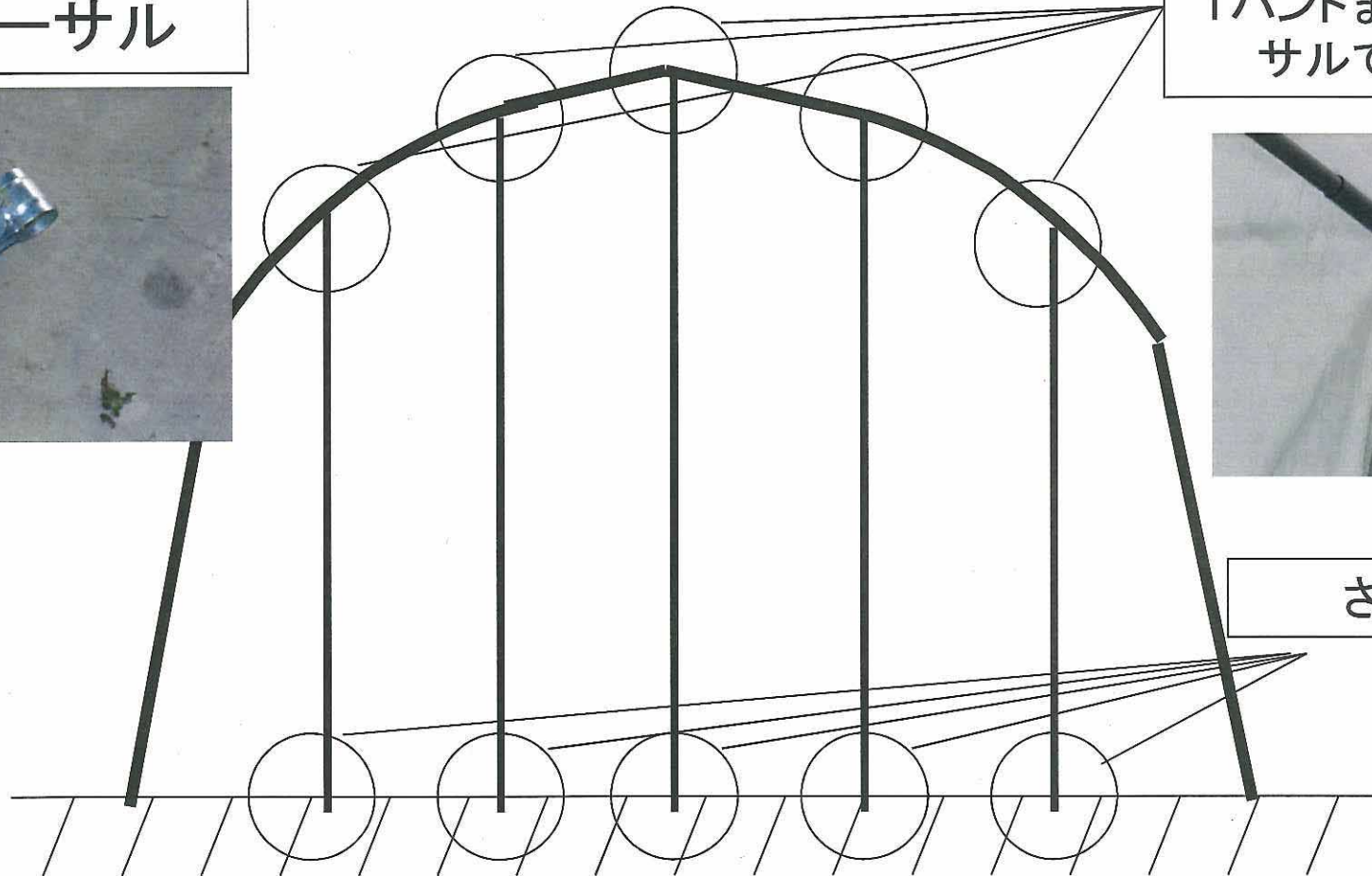
ユニバーサル



Tバンドまたはユニバーサルで取り付ける



さし込む



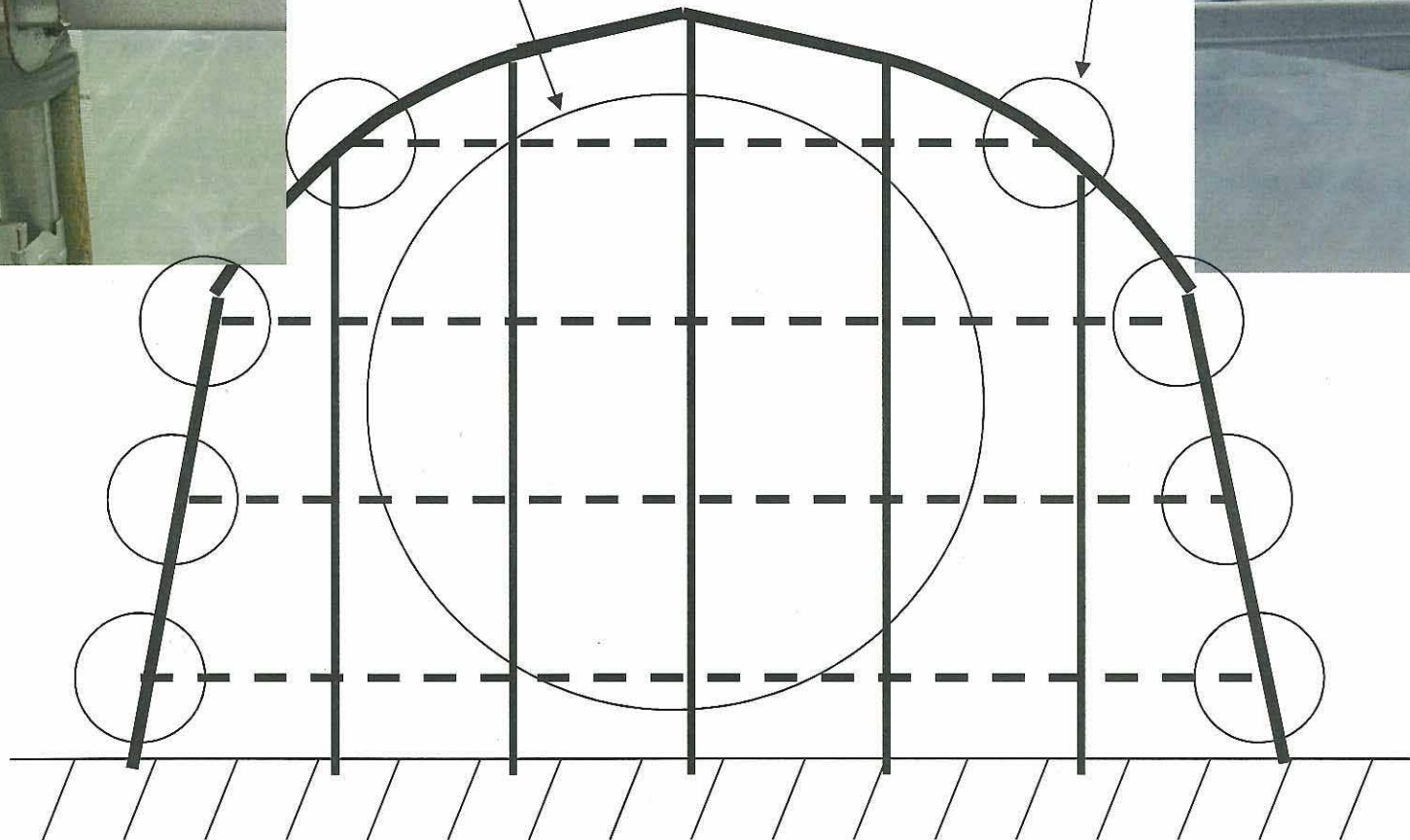
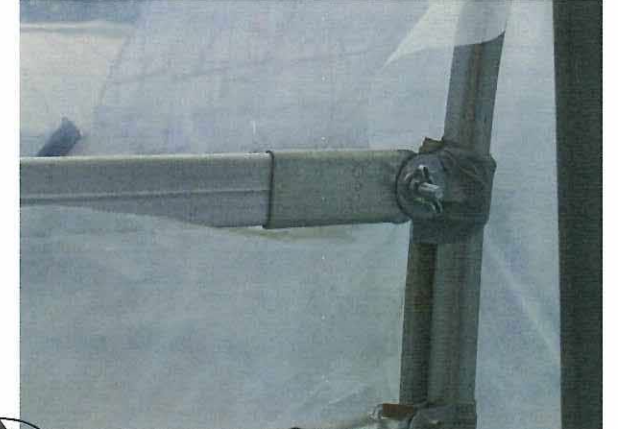
# パイプハウス建て方手順

## 12. 妻面ビネットレールの取り付け

上から順にほぼ等間隔で取り付け。サイド部に取り付けられた方法と同様に取り付ける。

パイプとの交差部をカチックス等  
で取り付ける

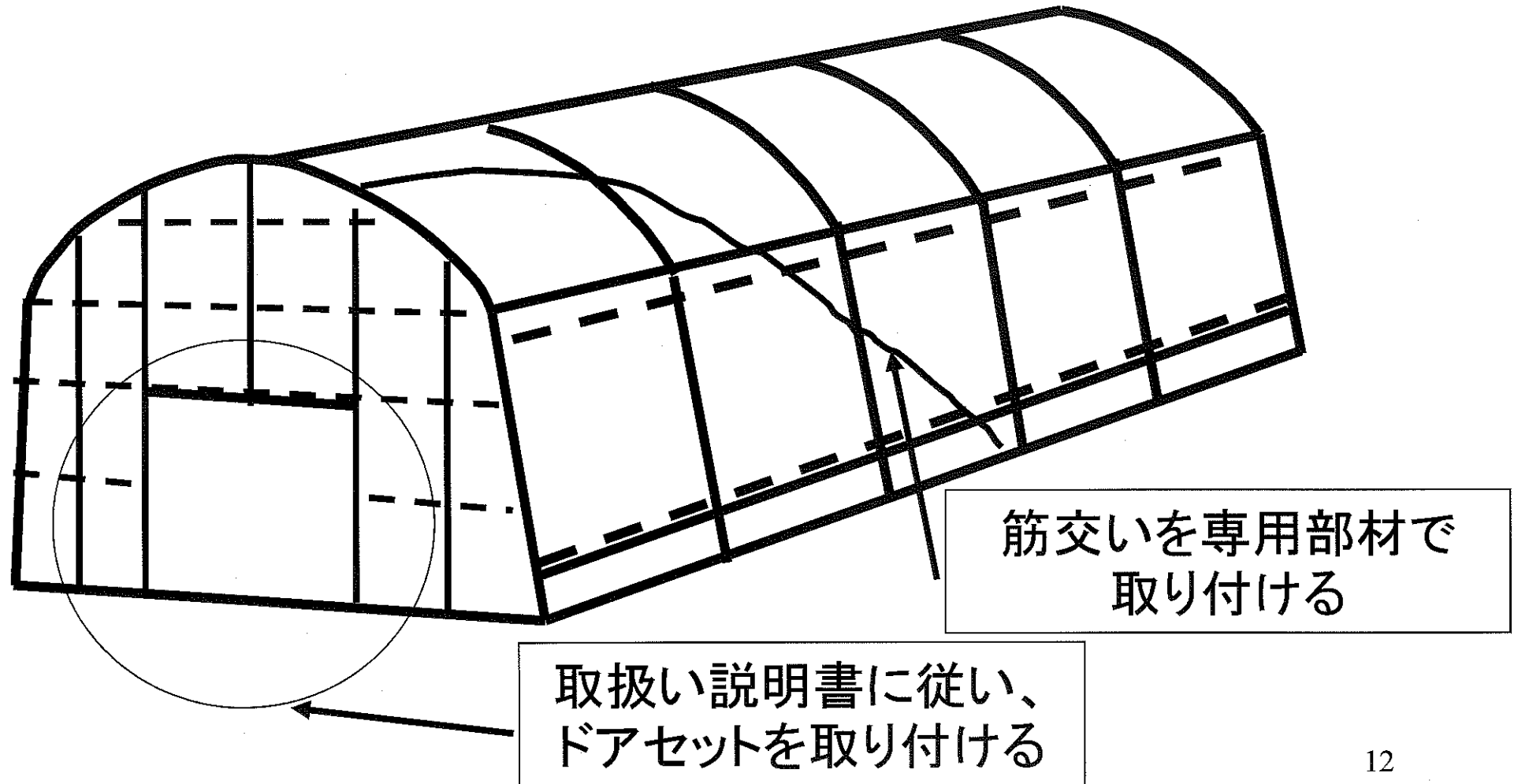
端部をビネットコーナージョイント  
で取り付ける



# パイプハウス建て方手順

## 13. 出入り口妻面の制作

逆側と同様の手順で作成するが、ドアセットにあわせてパイプを切り出し、作成します。  
その後、必要に応じて筋交いを取り付けます。

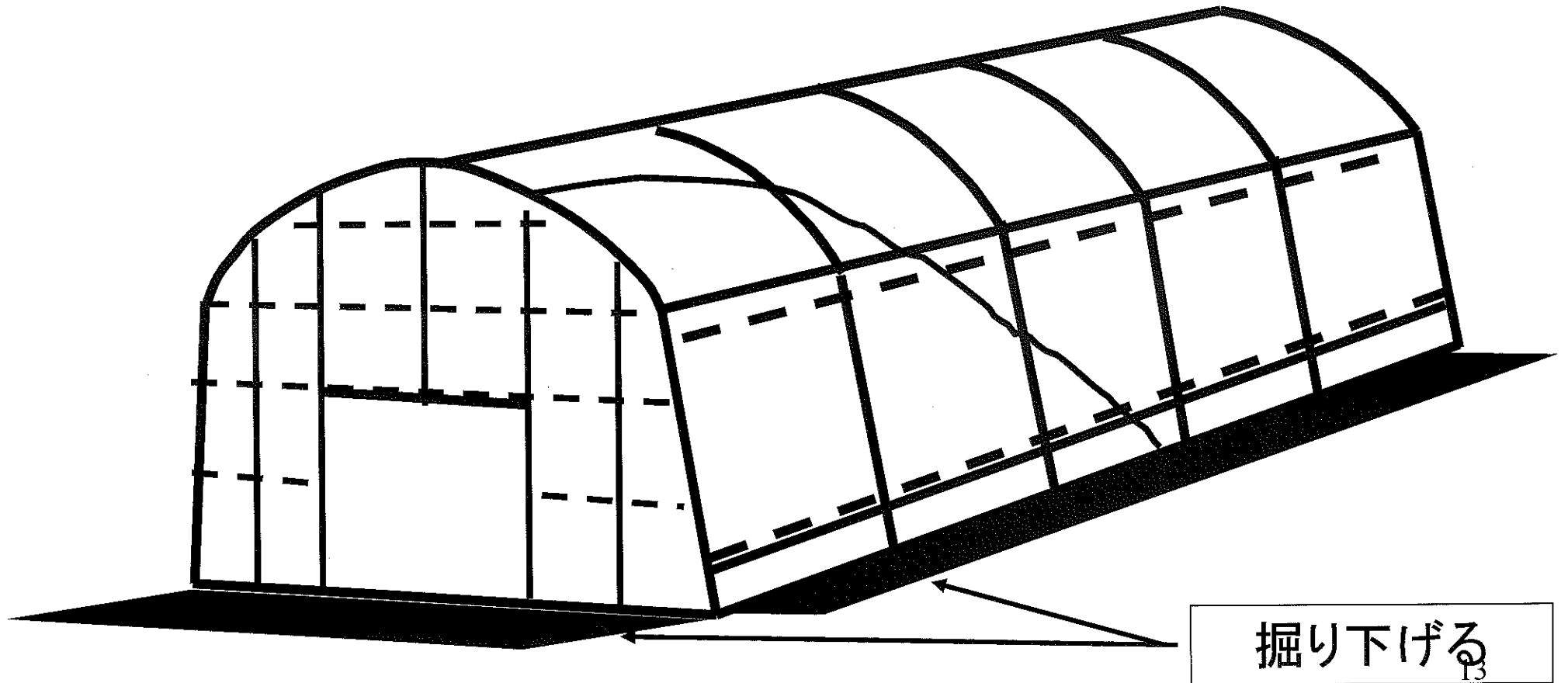


# パイプハウス建て方手順

## 14. フィルムの展張準備

ハウス周辺をフィルム裾埋め込み用に掘り下げ、屋根部からフィルムを展張する。

サイドに巻き上げ機器を取り付け、裾部を展張・埋めこみ、各部材のゆるみがないか確認し、完成。



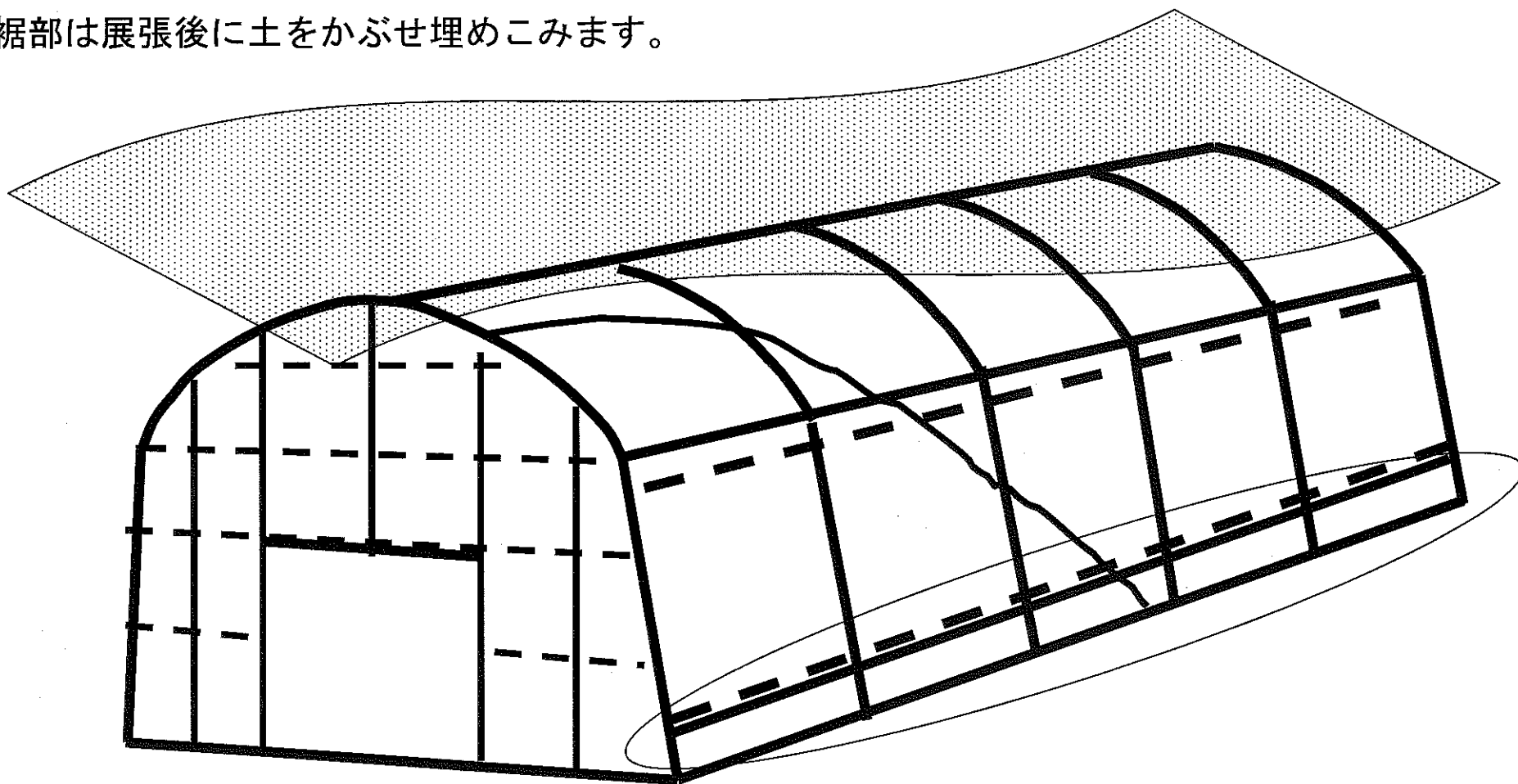
掘り下げる  
13

# パイプハウス建て方手順

## 14. フィルムの展張

ハウス周辺をフィルム裾埋め込み用に掘り下げ、裾部・サイド・妻面・天井の順に、フィルムを展張する。

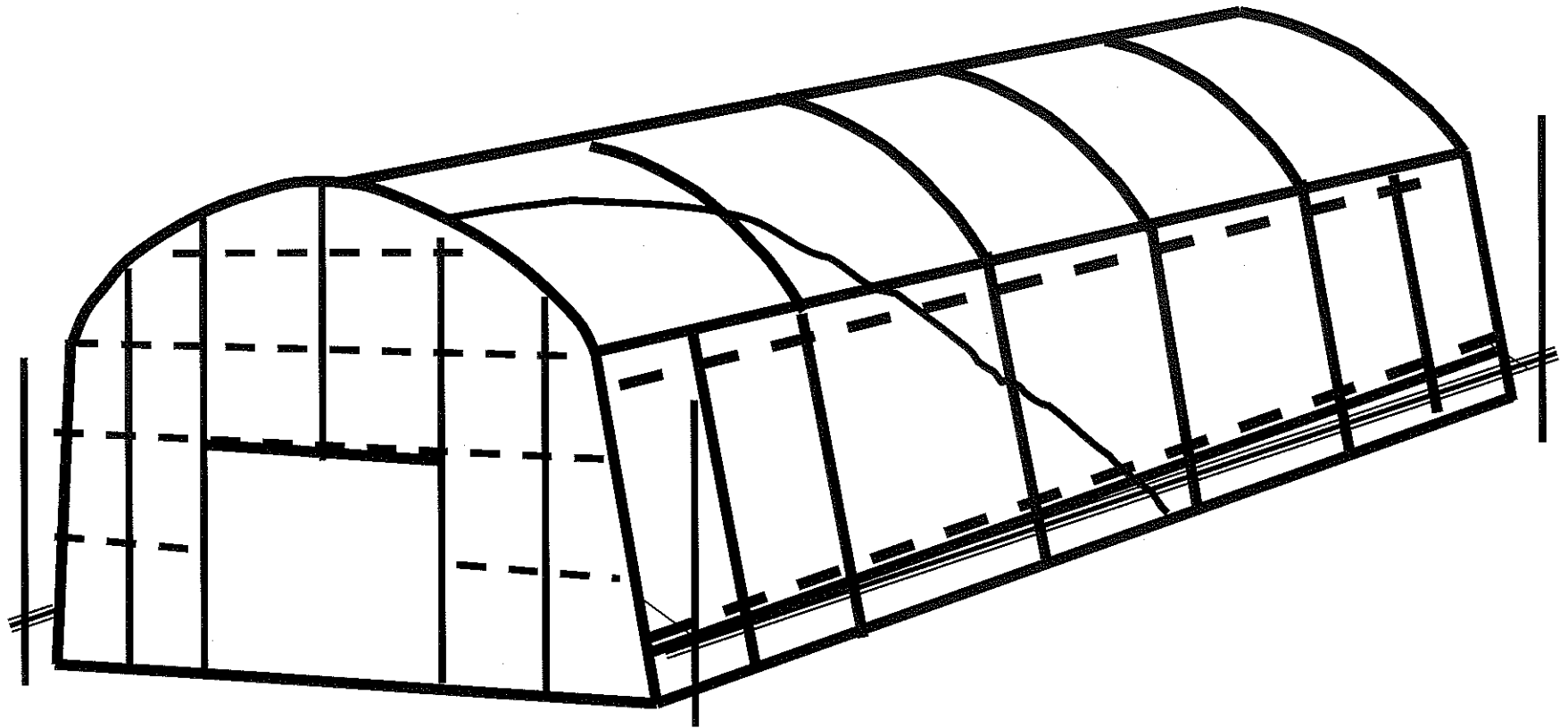
裾部は展張後に土をかぶせ埋めこみます。



# パイプハウス建て方手順

## 14. 巻き上げ装置の取り付け

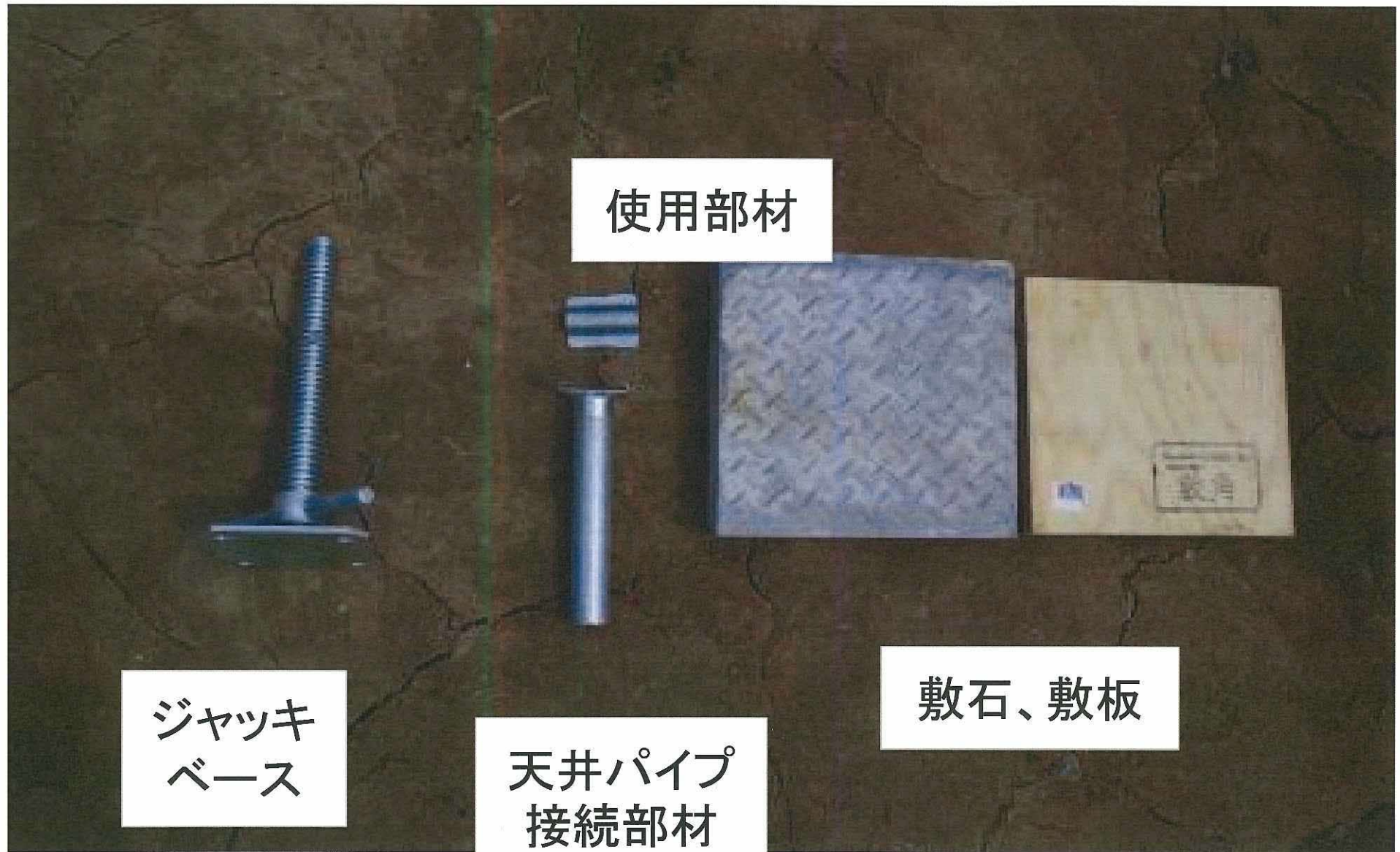
サイドに巻き上げ機器を取り付け、各部材のゆるみがないか確認し、完成。



完 成



# 雪害対策(支柱補強)



# 雪害対策(支柱補強)

① 天井部桁行パイプに、接続部材を取り付けます。

金槌でクサビ金具を打ち込みます。

② 接続部材に、支柱(38.6mmφ)を斜めに挿し込みます。

③ 支柱にジャッキベースを挿し込みます。



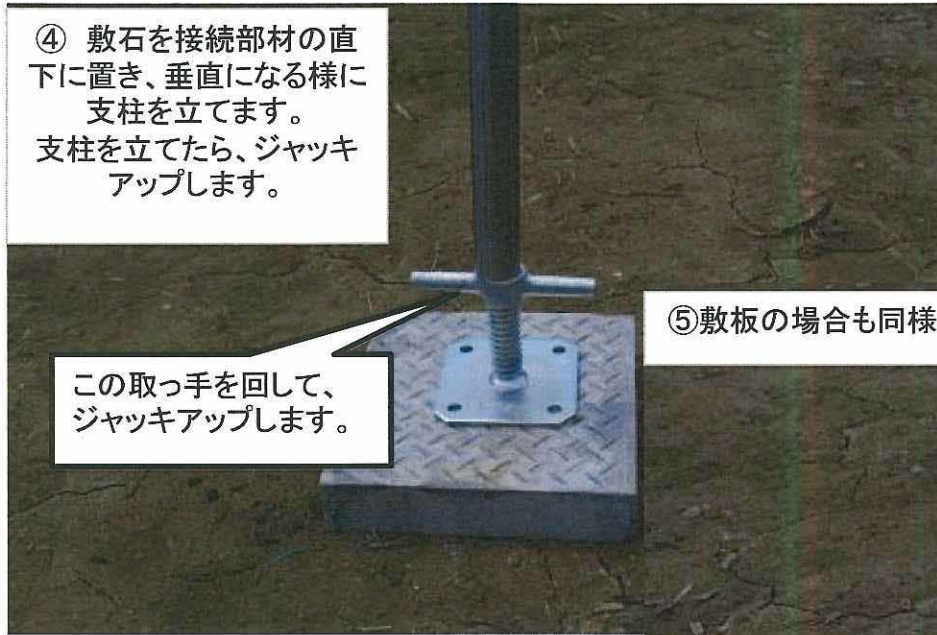
# 雪害対策(支柱補強)

④ 敷石を接続部材の直下に置き、垂直になる様に支柱を立てます。  
支柱を立てたら、ジャッキアップします。

この取っ手を回して、ジャッキアップします。

⑤ 敷板の場合も同様です。

⑥ 支柱が垂直になっているか、水準器で確認しましょう。



# 雪害対策(支柱補強)



パイプ(48.6mmΦ)を  
部材を使用して、3m  
程度毎に設置します。

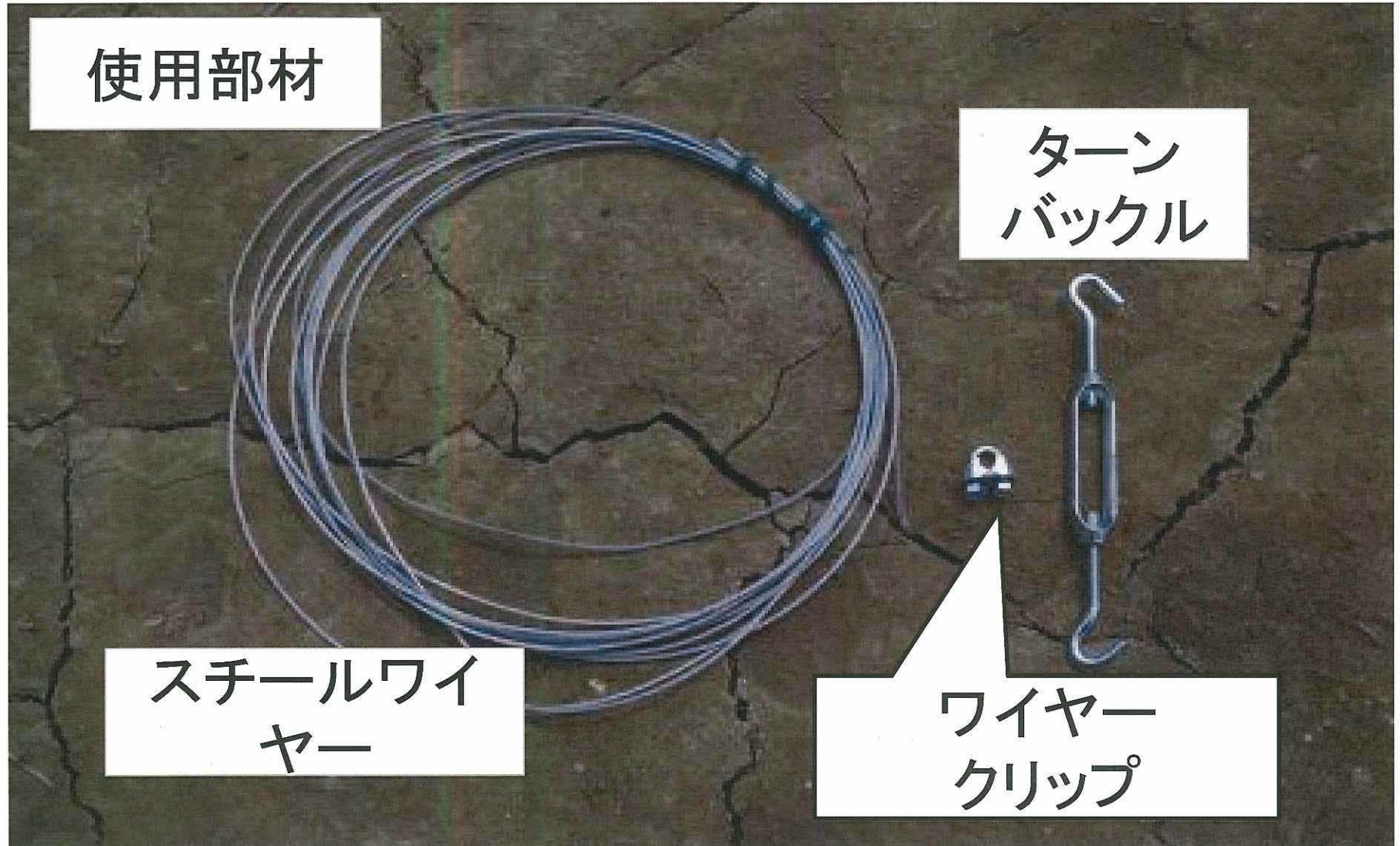
# 雪害対策(ワイヤー補強)

使用部材

スチールワイヤー

ターン  
バックル

ワイヤー  
クリップ



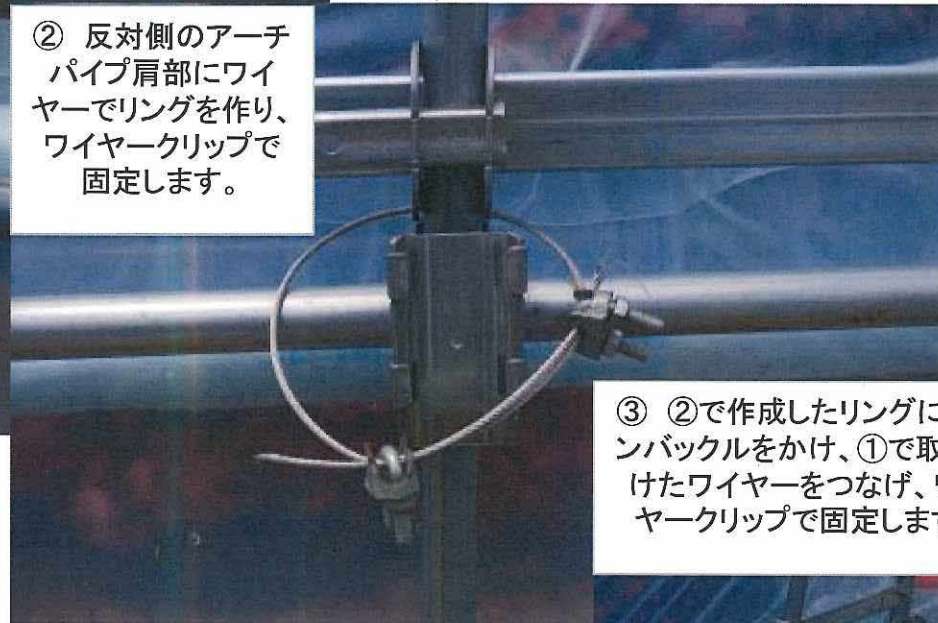
# 雪害対策(ワイヤー補強)

① 妻面から1スパン程度先のアーチパイプ肩部に、ワイヤーを取り付けます。

アーチパイプをワイヤーで巻き、クリップで固定します。

② 反対側のアーチパイプ肩部にワイヤーでリングを作り、ワイヤークリップで固定します。

③ ②で作成したリングにターンバックルをかけ、①で取り付けたワイヤーをつなげ、ワイヤークリップで固定します。

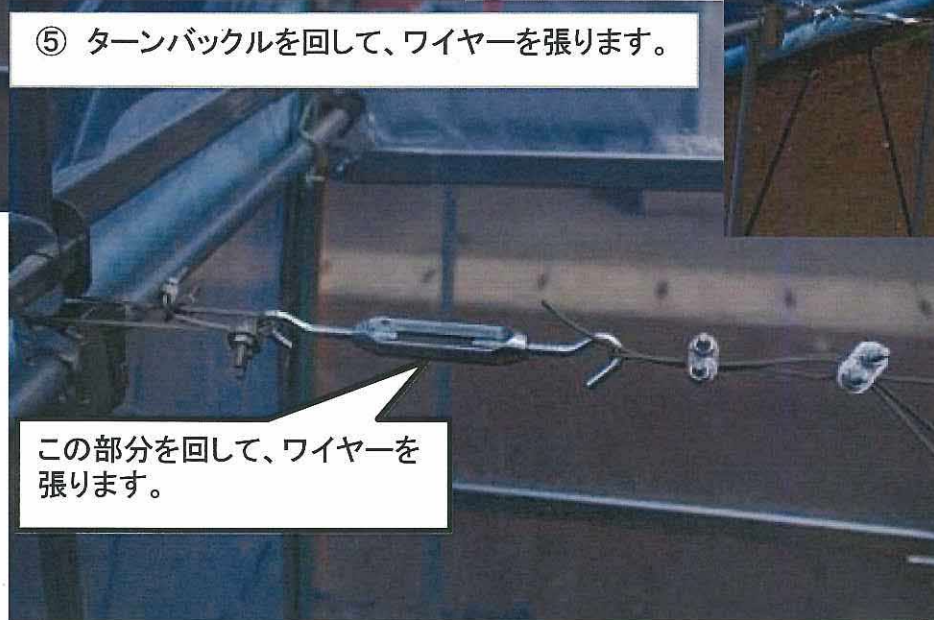


# 雪害対策(ワイヤー補強)

④ ターンバックルとワイヤーを接続した状態です。

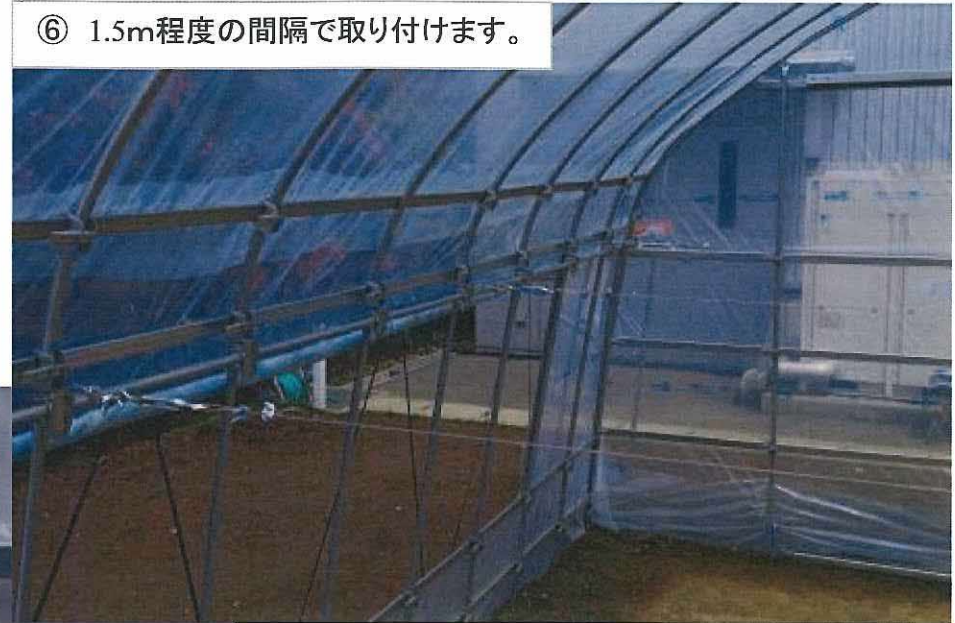


⑤ ターンバックルを回して、ワイヤーを張ります。



この部分を回して、ワイヤーを張ります。

⑥ 1.5m程度の間隔で取り付けます。



# 雪害対策(ワイヤー補強)

